

地域支援だより No. 3

広島県立尾道特別支援学校
令和3年9月13日(月)発行

本校では、8月26日(木)に夏休みが明け、学校生活がスタートしました。また、8月には夏季公開(オンデマンド)講座を実施しました。「手話講座」「教材・教具の紹介」「感情のコントロールについて」「自己理解を深めよう」「卒業後の進路」の5つの講座を、多くの方に視聴してもらいました。今回は、各部門・各部や地域での取組の様子その他、学校・学部説明、夏季公開(オンデマンド)講座の様子について紹介します。

広島県立尾道特別支援学校
令和3年度
学校・学部説明の御案内

7.1Thu - 7.21Wed
9:30-10:40(土・日・祝日を除く)

学校概要説明 ◆参加対象者◆
部門・学部説明 本校への転入学を検討している幼児児童生徒
校内見学 及びその保護者、教員等
教育相談について
質疑応答

申込受付期間
令和3年8月2日(月)～令和3年8月20日(金)

動画配信期間
令和3年8月10日(火)～令和3年8月31日(火)

申込の詳細については裏面を御覧ください。 ※申込期間(申込受付)は、一部科目(科目)に限ります。

広島県立尾道特別支援学校 令和3年度学校・学部説明を実施しました。

今年度も昨年度の引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、個別対応による学校・学部説明を実施し、本校の教育活動について情報提供を行いました。

今年度は、短い期間にも関わらず、16組の方に御参加いただきました。

実施期間は終了しましたが、本校への就学を検討されている、悩んでいる、次年度以降検討している方等に対し、引き続き情報提供を行っています。本校の教育活動について知りたい方は、所属を通して御連絡ください。

夏季公開(オンデマンド)講座を実施しました。

例年、授業実践交流会を夏季に実施していましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となりました。そこで今年度は、期間中はいつでも、受講することができるオンデマンド講座として形を変えて実施しました。

配信期間開始間際の周知にもかかわらず、園・所関係者、小・中、高等学校、福祉関係機関及び行政関係者等、60名以上の方に御参加いただきました。

講座内容に関する感想の他、いつでもどこでも受講できるオンデマンド講座のメリットについての感想も複数寄せられました。また、アンケート結果については、後日、本校ホームページにて紹介します。

アンケートからの貴重な御意見を参考に、今後も特別支援学校のセンター的機能の発揮に向けた情報発信の充実に努めていきます。

令和3年度 夏季公開(オンデマンド)講座

今年度は、特別支援教育の観点から見守り方、特別支援学校卒業後の進路、手話の世界等を扱った公開講座をオンデマンド方式で開催します。特別支援教育の観点による子供たちへの指導・支援の一つの参考として、本講座を御活用ください。

5つの収録講座

- 手話講座
- 教材・教具の紹介
- 感情のコントロールについて
イラストによる視覚的支援(手話)付き動画形式
- 自己理解を深めよう
私の授業を体験してみよう
- 卒業後の進路

◆対象者◆
園・所、小・中、高等学校、広島県立特別支援学校、広島県立特別支援学校、広島県立特別支援学校、広島県立特別支援学校、広島県立特別支援学校

講座長 15分～20分、動画内であればいつでも視聴できます。

◆申込受付期間◆
令和3年8月2日(月)～令和3年8月20日(金)

◆動画配信期間◆
令和3年8月10日(火)～令和3年8月31日(火)

【講師】
1. 尾道特別支援学校 特別支援科 教員 尾道 幸子
2. 尾道特別支援学校 特別支援科 教員 尾道 幸子
3. 尾道特別支援学校 特別支援科 教員 尾道 幸子

講座の詳細、申込方法は、この裏面を御覧ください。

聴覚障害部門の取組紹介

発音をするためには、様々な口や舌の動き、息の調節が必要となってきます。息の吹き方一つ見ても、「強く吹く」「ゆっくりそっと吹く」「長く吹く」「短く吹く」など、いろいろな強さや速さ、長短があります。そこで幼稚部では、それらが習得できるよう、遊びの中で楽しみながら取り組んでいます。

今回は、「おやつ時間」「シャボン玉」「吹き戻し」の様子を紹介します。今後も、いろいろな遊びの経験を通しながら、発音につながる口や舌の動き、息の調節ができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

おやつ時間です。舌を上下に動かしながら、お菓子のクリームを舐めて食べています。口のまわりにクリームが付いた時も、舌を動かして取っています。



息の出し方によって、大きいシャボン玉、小さいシャボン玉、たくさんのシャボン玉と形を変えて出てくることを楽しみながら遊んでいます。自分が作りたい大きさと形のシャボン玉を目指して、息の調整をしています。



的に向かって、勢いよく息を吹いています。吹き戻しは視覚的にも息が出ていることが分かりやすいため、誰が一番長く息を吹き続けることができるか競争などしています。

知的障害部門小学部の取組紹介

児童の興味・関心の高い食べ物の小道具を使い、「混ぜる」「じゃがいもをとる」、「パンをおく」など言葉掛けを行いながら、動作をさせることで、言葉と動作を一致できるように取り組みました。言葉だけでは難しい児童に対しては手順シートを活用し、教師の言葉と指差しにより児童が動作を確認しました。

言葉が表す動作を楽しみながら模倣することを繰り返し行い、イメージを膨らませることは、考えを形成することにつながります。

児童が感じた気持ちや要求を相手に伝えることができるよう、今後も言葉と動作が一致できるように取組を行ってまいります。



まぜようね。



じゃがいもをとってね



パンをおくよ

知的障害部門中学部の取組紹介

8月の検定に向けて
がんばりました

“おのみち作業検定”に向けての作業学習の授業の様子を御紹介します。

おのみち作業検定の目指すもの

社会自立・職業生活に向けて、場に応じた服装、挨拶、報告などを意識し、習慣づけるとともに、高等部で広島県特別支援学校技能検定を受検する際の準備段階としての意味合いももっています。

おのみち作業検定の内容

尾道市教育委員会と尾道特別支援学校が連携して指導書・評価表を設定し、特別支援学校中学部生徒と中学校特別支援学級生徒を対象に、年2回、**清掃**と**接客**の実技検定を実施しています。

受検者は、評価項目がいくつクリアできたかによって、1級～10級までの認定証を受け取ります。



動画での記録や評価を生徒が担当し、生徒がお互いに評価し合えるようにしています。授業のはじめに示されたポイントを意識して、評価し合います。

ゴミの取り残しが無かったので、いいと思います。

コップの下半分を持てたのでいいと思います。

L字掃きができていたのでいいと思います。

接客では、お客の役割を生徒が分担し、お客さんへの配慮についても考えます。



知的障害部門高等部の取組紹介

7月29日(木) 就職セミナーを行いました。

参加者は一般就労を希望・検討している高等部生徒です。3つの教室に分かれてリモートで行いました。今年度は株式会社ププレひまわり人事総務部 採用・教育課担当者様から、先輩たちの1日の仕事の様子や、働くことの意義、社会人に求められることなどを中心にお話を聞きました。企業の方から直接話を聞くことによって、就職先など自分の将来の方向性等を考えるきっかけとなってほしいと思います。

生徒アンケートより



- ・大きな声で挨拶や返事をするのが、社会人になっても大切だということがよくわかりました。
- ・100%の製品を作らなくてはいけないと思いました。
- ・体力をつけたり、分からないときは相談したりするというをやっていきたいです。

・職場実習に行かせていただいたとき、自分の作業技術アップを目標にしていました。しかし、今日「仕事をする意味」というお話をお聞きし、仲間やお客のことを考えることができました。いろんなことが分かってよかったです。



出来てないことは「出来ていません」
分からないことは「分かりません」と
素直に答えること!

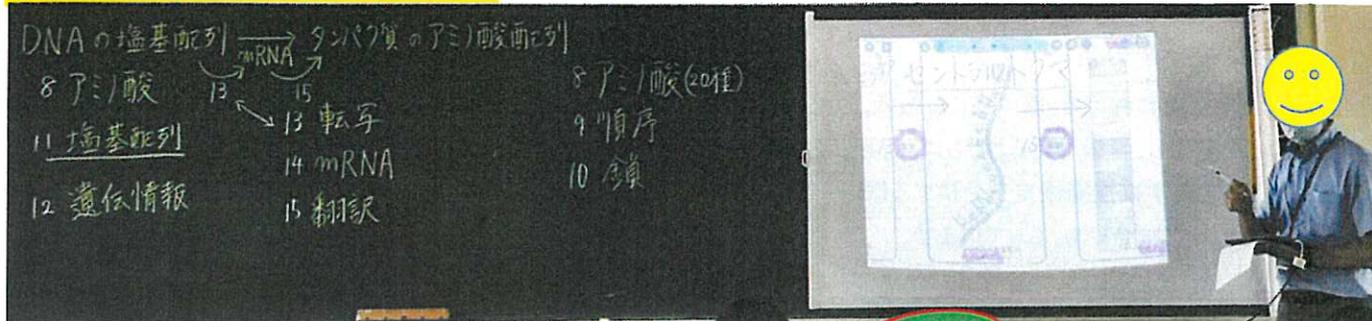
「メモを取ろう!」



早速メモを取っています。

高等学校の 取組紹介

各学校では、児童生徒たちが主体的に学習に参加しやすくなるために、様々な手立てや工夫を行っています。今回は、高等学校の取組を紹介します。



【板書の工夫】

生徒がプリントに記入する語句を黄色、それ以外（補足説明等）は白色と、チョークの色を使い分けて板書しています。「どこに何を書けばいいのか。」が目で見ても明確に分かるように工夫されています。

また、すぐに情報提示ができ、拡大縮小や書込みが自在なスライド映像の特徴と、消すまで残る従来の板書の特徴を生かして、生徒にとって分かりやすい授業を展開しています。

他にも

【配布プリントの工夫】

縦横の線の太さが同じ「ゴシック体」、「12ポイント」の文字サイズでプリントを作成し、使用しています。生徒にとって見えやすくするための工夫を行っています。授業では、角ゴシック体よりも柔らかい印象の「丸ゴシック体」を使用しています。

教育相談室からのお知らせ

1

本校へ入学・転入学を検討している幼児児童生徒を対象とした教育相談を実施しています。

本校への入学・転入学を検討されている場合、必ず本校の教育相談を受けていただく必要があります。10月末までに、所属を通して本校の担当者へ御連絡ください。

2

特別支援教育に関わる各種相談を実施しています。

来校相談、乳幼児教育相談（聴覚障害部門のみ）、巡回相談、電話相談、オンラインによる相談、特別支援教育に関する研修等を行っています。詳しくは担当者まで御連絡ください。

<聴覚障害部門対象地域>

尾道市、三原市（大和町を除く）、福山市、府中市（上田町を除く）、世羅郡（小国、上津田、黒川、下津田、中、長田、山中福田、吉原を除く）

<知的障害部門対象地域>

尾道市、（百島、浦崎、因島、瀬戸田を除く）

〒722-0022

広島県尾道市栗原町 1524

電話：0848-22-5248

FAX：0848-22-5249

<http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp>

担当 聴覚障害部門 にった（新田）

知的障害部門 にいばやし（新林）

